

緑の風

第5号（特別号）

令和7年7月2日発行
寝屋川市立第三中学校
校長 三國 秀彦

7月2日＝「校内安全の日」

7月2日は、第三中学校にとって決して忘れてはならない「校内安全の日」です。1・2年生の下足室から中庭に入ったところに、立派な石碑があります。その石碑には「健康」・「安全」の文字が刻まれています。また、この石碑が建てられた「昭和43年7月」という文字も読み取れます。三中ができたのが昭和36年ですから、創立7年目のことです。

今から57年前の7月2日は、梅雨の真ただ中、土砂降りの大雨で、グラウンドは水浸しになっていました。雨は、その日で3日間続いていました。外に出て遊ぶことができなかった生徒たちは、休み時間になると、教室や廊下を走り回っていたようです。そして、遊んでいるときに、走り回っていた生徒のひとりが、誤ってガラスを割ってしまいました。本来なら、すぐに片付けるはずでした

が、その日は大雨のために、割れたガラスを外に捨てに行けませんでした。それで後で始末することになり、大きなガラスの破片が教室の隅のゴミ箱の中に置かれたままにしてありました。

昼休みになって、ガラスを割った生徒とは別の男子生徒が、友達と教室内で遊んでいました。遊んでいるうちに、割れたガラスに気づかずに後ずさりした時、ガラスの破片がその生徒の太股（ふともも）に突き刺さりました。あいにく刺さった場所が悪く、傷口から大量に出血しました。動脈を傷つけ、血はなかなか止まりませんでした。先生たちがロープで縛っ



て、やっと血が止まりました。その後、すぐに救急車で病院に運ばれました。輸血をしながら傷口をふさぐ手術をして、夕方には意識も回復しました。家族の方をはじめ、多くの人たちがほっと胸をなで下ろしました。しかし、夜中になって容態が急変し、その生徒は帰らぬ人となってしまいました。亡くなった男子生徒は、中学1年生でした。突然、我が子を失ったご両親の悲しみは計りしれません。

このような悲しい事故の後で、その生徒のお父さんは、「二度とこのような事故を起こさないでほしい。」との思いを込めて、学校にこの石碑を寄贈してくださったのです。

次の年から、本校では、二度とみんなが同じような不幸な事故に遭わないように、また、「健康」で「安全」に学校生活が送れるように、毎年、7月2日を「校内安全の日」と定め、今

日まで安全に関する取り組みを行ってきました。先生たちが、日ごろからみなさんに、危険な遊びや悪ふざけ、特にガラスの破損について厳しく注意するのは、「尊い命を落とした一人の生徒がいた」という大きな反省と教訓があるからなのです。

今年に入ってから、ガラスの破損が起こっていて、幸い大事にまでは至っていません。しかし、休み時間中に教室や廊下などで、友だち同士でふざけ合ったり、暴れたり、ちょっとした不注意からガラスが割れてい

ます。大きなケガになっていないからいいというのではなく、ひとつ間違えれば、命を落とすことがあるということを知ってほしいと思います。ガラスが割れる原因の多くが、天候に関係なく、教室や廊下で走り回ったり、ボール遊びをしたり、掃除の時にほうきを振り回したりして、ふざけて遊んでいる時です。自然にガラスが割れるということはありません。

みんなの命はひとつしかない、かけがえのないものです。命を落としたり、取り返しのつかない大ケガを負ったりすることは、決してあってはならないことです。みなさんは、家族の人をはじめ、たくさんの人たちに支えられて育てられて

きているのです。自分の命も、そして周りの人の命も大切にしてください。

57年前にお子さんを失くされたご家族の方の思いをしっかり受け止めてほしいですし、また、この事故の教訓を風化させてはいけないと思っています。

人がケガをする時は、いろいろなことが重なって起きます。しかし、普段から気をつけておけば防げることもたくさんあります。時には、友だちとケンカをして、ケガをさせたり、させられたりしてしまうこともあります。こんな時も、お互いが少し冷静になって、相手のことを思い、正しい判断と行動をとっていれば、防げたということも多いです。みなさんが、健康で安全に、楽しく充実した学校生活を送るためにも、校内での過ごし方を、「校内安全の日」を契機（けいき）に、よく考えてください。

防災意識の向上を

みなさんは『ヒヤリハット』という言葉を知っていますか。普段の生活の中で、『ヒヤリ』としたり『ハッ』としたことがあると思います。『ヒヤリハット』とは、「危ないことが起こったが、幸い事故や災害には至らなかった事象のこと」と定義されています。このような、一歩間違えると事故や災害につながりかねないことが、日ごろから頻繁に発生している状況は、事故や災害が起こるべくして起こったり、いつ発生してもおかしくない状況と言えます。たまたま事故に至らなかっただけであり、このようなリスクは無くしていかなければなりません。そのためにも、日ごろから安全に対する意識を高め自らの行動をチェックし、焦りや油断のない安全な生活を心がけていく必要があります。そして、一人ひとりが自らの命を大切にし、さらには、仲間の命を大切にできる、そんな三中生であってください。

7月18日の終業式を終えると、いよいよ夏休みです。夏休み中は、水の事故や交通事故が多発します。また、不審者による事案も多く見られます。交通ルールを守り、決められた時間に帰宅するなど、安全で楽しい夏休みにしてください。

そして、2学期の始業式には元気に登校し、あいさつしてくれることを願っています。